

# 令和5年度黒部市議会報告会報告書

## 1 開催概要

- (1) 日時 令和5年5月30日(火) 午後7時～午後8時
- (2) 場所 黒部市庁舎 201～203 会議室
- (3) 出席人数 65名

## 2 報告等内容

※報告等の詳細は別添のPDF参照

- (1) 開会あいさつ 中村 裕一 議長

### (2) 第1部 (議会報告)

各常任委員会 委員会報告

総務文教委員会

生活環境委員会

産業建設委員会

(質疑応答) 別添

### (3) 第2部 (意見交換)

テーマ：市政全般について

(意見交換) 別添

- (4) 閉会あいさつ 議会運営委員会 木島 信秋 委員長

### 3 質疑応答要約（第1部）

（質疑なし）

### 4 意見交換要約（第2部）

①

（前沢）

前回、議員定数が1名減。現在欠員1名の16名で議会運営。議員定数減は影響あったか。良かった点、悪かった点、含めて教えてほしい。

（議会運営委員会 木島委員長）

議員定数については、議員間で決めることになっており、当時の17名議員全員で議論し、3案 ①現状維持の18名、②1名減の17名、③2名減の16名。のうち、17名となった。

4月の県議会議員選挙により、1名減して16名となっているが、各委員会において今のところ支障はない。

②

（三日市）

市の中心街区として、今後どのように三日市を整備していけばいいのか？

市全体としての三日市の位置づけは。

空き家問題。市民会館、働く婦人の家の跡地どうなる？

まちづくりのランドデザインを示してほしい、議会で議論を深めてほしい。

（広報広聴委員会 柴沢委員長）

立地適正化計画とマスタープラン計画を議決事件として取り扱うことと決定した。それを含めて黒部市のまちづくりを考えていく。

③

（生地）

今後の小学校の統合について

チャットGPTの活用、議会での使い方は？

（総務文教委員会 大辻委員長）

小学校の合併に関しては、以前計画が出たが見直しになり、今後の時期などについてはまだはっきりと決まっていない。

（広報広聴委員会 柴沢委員長）

小学校の合併は、過去に議会で質問が出た際には、「清明中・明峰中の合併を検証したうえで小学校のあり方を考えていきたい」という市側の答弁であった。

チャットGPTに関しては、最近出てきたばかりのものなので議会ではまだ議論していない。

④

(石田)

あいの風黒部駅前の整備について、洪水対策、排水をどう考えているのか、そもそもの原因がある。ハザードマップが現実と違っている、議会としても間違っただけのものを発行しないように是正する方法を検討してほしい

(産業建設委員会 柳田委員長)

雨が降った際の状況は、その都度、建設部中心に対応してきた。町内会からの要望もきている。当局と引き続き話していく。ハザードマップに関しては、市・県・国交省も入ってきちんと作っているが、改めて担当課に申し入れる。

⑤

(荻生)

4車線化工事中の道路の街灯について。電柱についているもの、単独のもの、形態もさまざまであるが、間隔もまばらである。市民環境課とも話しているが、今後の方向性は？

公民館のところの防犯カメラ設置について

(生活環境委員会 中野委員長)

防犯カメラなどに関しては、これまでも議員が議会などで当局へ質問や意見を述べている。今年度もいくつか設置する予算が組んである。防犯だけでなく行方不明に対しても防犯カメラが全部についていけばいいが、個人情報管理など問題がある。今後も当局へ意見を申し述べていく。

⑥

(田家)

発電事業特別会計予算について、内容は今の発電施設自身を効率化するものになおしていくのか？

(産業建設委員会 柳田委員長)

市で整備している発電事業が2つ。宮野用水発電、黒瀬川発電所。この二つの事業収入を、一部、売上高を一般会計へ繰り入れしていろんな事業をしているというもの。メンテナンスは必要、令和4・5年度予算においては、宮野。電力売り上げの

一部を一般会計に繰り入れして、メンテナンスする時に特別会計の基金で足りなければ一般会計から補てんするなどして今後も進めていく。

⑦

(大布施)

特別会計を一般会計に繰り入れると意味がないと思うがなぜそういうやり方をするのか。

まきば牧場事業について、非常に疑問視している。

(産業建設委員会 柳田委員長)

発電事業会計の歳入の主なものは売電収入。

歳出は、管理費、事務費、公債費など。建物を建てる際にかかった費用を毎年支出している。

そのほかに余力があれば、一般会計へ繰り入れている。

宮野用水は、設置からかなり経っている。

土地改良事業にはいるために繰り入れている部分もある。

牧場については、議会でもここ4・5年牧場会計を危惧する質問が多数出ている。

毎回一般会計から繰り入れして牧場がもつのかどうなのかという意見もあるが、いろんな形で収入があり、経営コンサルタントも入れ、経営改善する際に、繰り入れ額はこれまでの額よりもかなり減っていて努力のあとが見て取れる。

⑧

(若栗)

新幹線駅前の賑わいについて。

駐車場は有料化されてきたが、賑わいづくりは何も変わっていない。

議会として今後どう取り組むのか。

(産業建設委員会 柳田委員長)

若栗地区の再三の要望として聞いている。

県東部の拠点駅として整備してきた。駐車場はあるが、賑わいの核となる施設はほとんど立っていない。議会として今後も当局と一緒に議論を進めていく。

## 5 議会報告会を終えて

本議会報告会では①常任委員会の報告 ②市政全般について をテーマとし開催した。

1部の常任委員会の報告は、令和元年度を最後にやめており4年ぶりに行っ

た。結果、ご来場された方のアンケート意見では、過去5回行ってきた従前の結果同様、様々な指摘や意見を頂く形となった。次回以降、仮に委員会報告を行うのであれば、同じ過ちを繰り返さないよう、過去のアンケート結果をしっかりと反映し改善して行うべきである。

2部においては市政全般をテーマに幅広く意見を頂いた。課題としては、65名の方が参加しているなか、時間の関係上8名の来場者しか意見を述べる事が出来なかったことがあげられる。また、来場者の意見から「テーマが幅広く、地域の話が述べられると何を言っているのか分かり難かった」との意見もあった。こちらについては、直近に2回行ったようにテーマを絞って行うことも考慮に入れ、その反面、担当者のみが答弁し、他のすべての議員はただ座っているだけにならないよう、やり方を模索する必要があると考える。

最後に、この議会報告会であるが、黒部市は県内他市のなかにおいては、比較的早く始めた経緯があるが、現在となってはやり方が遅れているところがある。

他市の状況を注視しながら先進的なことを取り入れつつ、より良い議会報告になるよう引き続き検討を重ねる必要があると考える。